

## 第128回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

本日、第127回火山噴火予知連絡会（平成25年10月22日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

### ○ 全国の主な火山活動

今期間（平成25年10月22日～平成26年2月25日）、阿蘇山、桜島、諏訪之瀬島で噴火が発生しました。また、西之島周辺で噴火が発生し、新島の形成と拡大が認められました。

**桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕** 昭和火口では、今期間も活発な噴火活動が継続しました。爆発的噴火は、2013年7月から10月まで多い状態で経過しましたが、11月以降は減少しました。今期間の噴火による噴煙の最高の高さは火口縁上4,500m、大きな噴石が最大3合目まで達しました。また、火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流が4回発生しました。

地殻変動観測では、始良カルデラ深部の膨張は、停滞していますが、長期的には膨張が進行しており、引き続き活発な噴火活動が継続すると考えられますので、火山活動の推移に注意してください。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

**西之島〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕** 2013年11月20日、西之島の南東海上に新島が出現し、噴火しているのが確認されました。溶岩の流出により新島は拡大を続け、12月末には西之島と接続して一体となり、その後も噴火と溶岩の流出が継続しています。西之島付近では噴火に警戒してください。

**霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕** GNSS観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2011年12月以降鈍化・停滞していましたが、2013年12月頃から伸びの傾向がみられます。2013年12月～2014年1月には、新燃岳に隣接する<sup>おおなみのいけ</sup>大浪池及び<sup>からくにだけ</sup>韓国岳付近を震源とする地震が発生しました。また、新燃岳火口直下を震源とする地震は概ね少ない状態で経過していましたが、2月20日頃からやや増加した状態となっています。今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

注) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

【本件に関する問い合わせ先】

気象庁 地震火山部 火山課（電話：03-3284-1749）

## 各地方の主な活火山の火山活動評価

### 1. 北海道地方

#### ① アトサヌプリ [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ② 雌阿寒岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・全磁力連続観測によると、96-1火口南側地下の温度が上昇している可能性があります。今後の火山活動の推移に注意してください。

#### ③ 大雪山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ④ 十勝岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量及び地震回数の増加、発光現象などが観測されています。また、吹上温泉地区では、1988～89年噴火の数年前からもみられた温泉のCl/SO<sub>4</sub>比の上昇が、2012年からわずかながら認められています。今後の火山活動の推移に注意してください。

#### ⑤ 樽前山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・2013年7月から活発化した山体西側を震源とする地震活動は、9月以降低調に経過しています。山頂溶岩ドーム直下の地震活動も低調で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・山頂溶岩ドーム周辺では、1999年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

#### ⑥ 倶多楽 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑦ 有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑧ 北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑨ 恵山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 2. 東北地方

#### ① 岩木山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ② 八甲田山 [噴火予報(平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、八甲田山周辺を震源とする地震が増加した状態で経過しています。

- ・ 2013年4月から7月にかけて増加した大岳山頂直下の地震活動は、7月下旬以降、減少傾向となっておりますが、12月下旬に一時的に増加しました。
- ・ 地殻変動観測では、2013年2月頃以降みられていた小さな膨張性の変動は、8月頃から鈍化し、11月頃からは停滞しています。
- ・ 地獄沼付近の噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。
- ・ 地震活動は継続しており、今後の火山活動の推移に注意してください。

### ③ 十和田 [噴火予報(平常)]

- ・ 2014年1月27日昼前から夜にかけて、中湖<sup>なかのうみ</sup>付近の深さ4～7kmを震源とする地震活動が活発な状況になりましたが、1月28日以降、地震回数は減少しています。
- ・ その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

### ④ 秋田焼山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### ⑤ 岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山性地震が一時的にやや多くなりましたが、今期間、火山活動は低調に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### ⑥ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 女岳<sup>めだけ</sup>では、2009年からの地熱域の拡大が、今期間もわずかながら認められました。
- ・ 地震活動は概ね低調で、地殻変動及び噴気活動にも特段の変化はみられず、ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

### ⑦ 鳥海山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### ⑧ 栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### ⑨ 蔵王山 [噴火予報(平常)]

- ・ 2013年1月以降、地震活動はやや活発な状況で、火山性微動も2013年10月から2014年1月にかけて6回発生しました。
- ・ 地殻変動と表面現象等に特段の変化はみられず、ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

### ⑩ 吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 大穴火口の噴気活動は、やや活発な状態が続いています。
- ・ 2013年11月に地震回数がやや多い状況となりましたが、それ以外の月は少ない状況で経過しました。
- ・ ただちに噴火する兆候は認められませんが、火口内では火山ガスの噴出がみられるので警戒してください。また、風下側では、火山ガスに注意してください。

### ⑪ 安達太良山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### ⑫ 磐梯山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

- ① 那須岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
  - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ② 日光白根山 [噴火予報(平常)]
  - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ③ 草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
  - ・地震活動は静穏で、地殻変動データにも特段の変化は認められません。
  - ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒してください。
- ④ 浅間山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
  - ・火山性地震は、2010年4月以降やや少ない状態で推移しています。
  - ・二酸化硫黄の放出量は、2010年3月以降やや少ない状態で推移しています。
  - ・山体周辺のGNSSによる地殻変動観測では、2009年秋頃から縮みの傾向がみられます。
  - ・火山活動は静穏な状態が続いていますが、山頂火口から500mの範囲では、火山灰噴出や火山ガス等に警戒してください。
- ⑤ 新潟焼山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
  - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ⑥ 弥陀ヶ原 [噴火予報(平常)]
  - ・東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、周辺で地震活動が活発な状況となりました。その後、周辺の地震活動は低下しつつも継続しています。
  - ・立山地獄谷では以前から熱活動が活発でしたが、2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されており、今後の火山活動の推移に注意して下さい。また、この付近では火山ガスに注意してください。
- ⑦ 焼岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
  - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ⑧ 乗鞍岳 [噴火予報(平常)]
  - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ⑨ 御嶽山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
  - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ⑩ 白山 [噴火予報(平常)]
  - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ⑪ 富士山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
  - ・2011年3月15日に山頂の南南西約5km、深さ15kmを震源とする静岡県東部の地震(マグニチュード6.4、最大震度6強)が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりました。その後、地震活動は低下しつつも継続しています。
  - ・その他の観測データに異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。

- ⑫ 箱根山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ⑬ 伊豆東部火山群 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ⑭ 伊豆大島 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]
- 長期的には、地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が継続していますが、2011年頃から鈍化してきています。
  - 最近の変化をみると、GNSS観測では、2013年4月頃から縮みの傾向がみられていましたが、8月頃から伸びの傾向がみられています。傾斜観測でも、2013年4月頃から山下がりの傾向がみられていましたが、8月頃から山上がりの傾向がみられています。体積ひずみ計の観測では、2013年4月頃からは停滞していましたが、8月頃から再び伸びの傾向がみられています。
  - 2013年12月下旬から2014年1月上旬にかけて、主に島内東部の浅部を震源とする地震が一時的に活発になりました。
  - その他の観測データには特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ⑮ 新島 [噴火予報 (平常)]
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ⑯ 神津島 [噴火予報 (平常)]
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ⑰ 三宅島 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]
- 今期間、噴火は発生しませんでした。噴火は2013年1月22日を最後に発生していません。
  - 山頂浅部を震源とする地震は概ね少ない状態です。
  - GNSSによる観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013年頃から停滞しています。一方、島の南北を挟む長距離の基線で2006年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。
  - 二酸化硫黄の放出量は長期的には緩やかな減少傾向にあり、期間中は1日あたり200～400トンと、やや少量の火山ガス放出が続きました。
  - 火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺(雄山環状線内側)では引き続き噴火に警戒してください。風下にあたる地区では火山ガスに警戒してください。
- ⑱ 八丈島 [噴火予報 (平常)]
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ⑲ 青ヶ島 [噴火予報 (平常)]
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ⑳ 西之島 [火口周辺警報 (火口周辺危険)] ←11月20日に火口周辺警報 (火口周辺危険) を発表
- 2013年11月20日、西之島の南東海上に新島が出現し、噴火しているのが確認されました。今回の噴火位置は、前回1973～74年噴火の際に、初めて新島が出現した位置とほぼ一致します。

- ・噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出により新島は拡大し、2013年12月26日には西之島と接続して両島が一体となっているのが確認されました。
- ・その後も噴火活動は継続し、新たに形成された陸地（西之島と接続した新島部分）の拡大が確認されており、2014年2月21日時点で、新たに形成された陸地の面積は噴火前の西之島の約2.5倍の約0.5km<sup>2</sup>になっています。
- ・また、2014年2月4日時点までに噴出したマグマの量は約1千万m<sup>3</sup>と見積もられており、マグマの噴出レートは2013年12月以降、1日あたり10万m<sup>3</sup>程度で推移しています。
- ・噴火確認以降、西之島周辺で常に変色水が確認されています。
- ・2014年1月29日に実施した二酸化硫黄放出量観測では、1日あたり500トンとやや多い状態でした。
- ・2013年11月21日以降、気象衛星「ひまわり」の観測で、西之島周辺の熱異常域と噴煙を確認しました。
- ・今後も噴火が続くおそれがありますので、西之島付近では噴火に警戒してください。また、浮遊物に注意してください。

#### ②① 硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）]

- ・島西部の旧火口（通称：ミリオンダラーホール）では、2012年2月以降ごく小規模な水蒸気爆発が度々発生していますが、今期間は噴火は確認されていません。
- ・地震は概ね少ない状態で経過しました。
- ・GNSSによる地殻変動観測では、2013年5月頃から隆起の傾向がみられ、11月頃から沈降の傾向がみられていましたが、2014年1月頃から停滞しています。なお、島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点及びその周辺では警戒してください。

#### ②② 福德岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）]

- ・変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒してください。

### 4. 九州地方・南西諸島

#### ① 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ② 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ③ 阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ←平成25年12月27日に噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げ。

- ・中岳第一火口の湯だまり量は、2013年4月頃から次第に減少しました。
- ・2013年12月20日頃から火山性微動の振幅が次第に大きくなり、二酸化硫黄の放出量も12月24日に1日あたり1,100トンと増加しました。これらのことから、中岳第一火口の火山活動は高まっており、火口から概ね1kmの範囲に大きな噴石を飛散させる噴火が発生する可能性があるかと判断し、12月27日10時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。
- ・2014年1月13日12時15分頃、中岳第一火口でごく小規模な噴火を確認しました。その後も時々ごく小規模な噴火が発生しました。噴煙の高さの最高は1月13日の噴火

に伴う、火口縁上600mでした。

- ・ 12月以降、湯だまり量は概ね1割以下の状態で経過しました。1月7日以降は、火口中央部付近で高温の噴気孔を確認しました。
- ・ 南側火口壁の最高温度は287～384℃とやや高い状態で経過しました。1月下旬には高温領域が拡大しているのを観測しました。
- ・ 1月20日頃よりひずみ及び傾斜変動が観測され、21日から火山性地震と孤立型微動が増加しました。孤立型微動は1月23日以降次第に減少しましたが、火山性地震は1月26日まで多い状態が続きました。
- ・ 二酸化硫黄の放出量は、12月24日以降は1日あたり900～2,300トンと多い状態となっています。
- ・ 中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。また、火口付近では火山ガスに注意してください。
- ・ 南阿蘇村吉岡の噴気活動はやや活発な状態が続いており、引き続き噴気活動に注意してください。

#### ④ 雲仙岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑤ 霧島山

##### 新燃岳 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・ 新燃岳では、2011年9月7日を最後に噴火は発生していません。
- ・ 噴煙活動は静穏で、二酸化硫黄の放出量は検出限界以下でした。
- ・ 火口内に蓄積された溶岩の状態に特段の変化はありませんでした。火口内南東側の火孔の形状にも特段の変化はみられませんでした。しかし、火口にたまった溶岩内部には依然高温状態の部分もあると考えられます。
- ・ 新燃岳直下を震源とする火山性地震は概ね少ない状態で経過していましたが、2月20日頃から、やや増加した状態となっています。火山性微動は発生していません。また、2013年12月～2014年1月にかけて、大浪池付近の海拔下2～5km及び韓国岳付近の海拔下0～3kmを震源とする地震が発生しました。
- ・ GNSS観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2011年12月以降鈍化・停滞していましたが、2013年12月頃から伸びの傾向がみられており、今後の推移に注意する必要があります。
- ・ 新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。
- ・ 降雨時には泥流や土石流に注意してください。

##### 御鉢 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑥ 桜島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

- ・ 昭和火口の噴火活動は、活発な状態で経過しました。
- ・ 爆発的噴火の発生回数は、2013年7月から10月まで多い状態で経過しましたが、11月以降は減少しました。2013年10月から2014年1月までの爆発的噴火の回数は173回で、うち3回で大きな噴石が3合目まで達しました。噴煙の高さが火口縁上3,000m以上の噴火は9回発生し、最高は火口縁上4,500m(10月21日10時35分の噴火)でした。火口周辺にとどまるとごく小規模な火砕流が4回発生しました。

- ・南岳山頂火口では、ごく小規模な噴火が5回発生しました。
- ・二酸化硫黄の放出量は、1日あたり800～2,500トンと概ねやや多い状態が継続しています。
- ・鹿児島県の降灰観測データをもとに解析した火山灰の月別の噴出量は、2013年10月は約100万トンとなり、2006年の昭和火口噴火再開以降では最も多い値となりました。11月は約50万トン、12月は約30万トン、2014年1月は約20万トンと減少しました。
- ・島内の傾斜計、伸縮計及びGNSSでは、期間中大きな変化はありませんでした。
- ・火山灰の放出量と地殻変動量から導いた桜島直下へのマグマの供給量は、2013年7月から10月頃にかけて一時的に増加しましたが、11月から減少したと推定されます。
- ・GNSSによる地殻変動観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の膨張を示す伸びの傾向は、2013年6月頃から停滞していますが、長期的には膨張が進行しています。
- ・昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

⑦ 薩摩硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、硫黄岳火口では噴煙活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

⑧ 口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、新岳火口内では噴気活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

⑨ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・諏訪之瀬島では、2013年8月頃から噴火活動が活発になっています。
- ・御岳火口では、2013年10月から2014年1月までに爆発的噴火が277回発生し、特に12月29日（125回）、12月30日（66回）に集中しました。また、12月29日00時から03時過ぎにかけては連続的な噴火も発生しました。これらの噴火に伴い、遠望カメラで火口付近に飛散する噴石を確認しました。火口から南南西約4kmの榑戸原観測点での爆発的噴火に伴う空振の最大振幅は、29日12時08分に観測した91Paでした。
- ・噴煙の高さの最高は、2014年1月24日の灰白色の噴煙が火口縁上1,200mまで上がりました。また、同火口では夜間に高感度カメラで火映をほぼ毎日観測しました。
- ・諏訪之瀬島周辺を震源とするA型地震は、2013年6月以降増加しており、2013年10月から2014年1月までの月回数は43～131回とやや多い状態で経過しました。B型地震は、12月に454回、2014年1月に421回とやや多い状態でした。
- ・今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

---

注) 噴火警戒レベルは平成26年2月25日現在、30火山で運用しています。



全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地方	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	雌阿寒岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年9月29日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報 (平常) 2008年11月17日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常)
	大雪山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	十勝岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年12月16日 噴火予報 (レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	有珠山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年6月9日 噴火予報 (レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	恵山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	東北地方	岩木山	噴火予報 (平常)
秋田焼山		噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2013年7月25日 噴火予報 (レベル1、平常)
岩手山		噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
秋田駒ヶ岳		噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年10月27日 噴火予報 (レベル1、平常)
鳥海山		噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
栗駒山		噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
蔵王山		噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
吾妻山		噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
安達太良山		噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
磐梯山		噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	日光白根山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	草津白根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常) 切替
	浅間山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月7日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報 (レベル1、平常)
	新潟焼山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	弥陀ヶ原	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	焼岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	乗鞍岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	御嶽山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	白山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	富士山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	伊豆大島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	新島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	神津島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	青ヶ島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	西之島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2013年11月20日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報(周辺海域警戒)
	九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報(平常)
九重山		噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
阿蘇山		火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2011年5月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日 噴火予報(レベル1、平常) 2013年9月25日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年10月11日 噴火予報(レベル1、平常) 2013年12月27日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
雲仙岳		噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
霧島山(新燃岳)		火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報(レベル1、平常) 2010年3月30日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日 噴火予報(レベル1、平常) 2010年5月6日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2011年1月31日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年2月1日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年3月22日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年6月26日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2013年10月22日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
霧島山(御鉢)		噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
桜島		火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月24日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島			2010年9月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	薩摩硫黄島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日 噴火予報（レベル1、平常）
	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、予報事項に変更はありません。

地方	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

\* 天頂山と雄阿寒岳は2011年6月7日に活火山として追加し、噴火予報（平常）を発表しました。

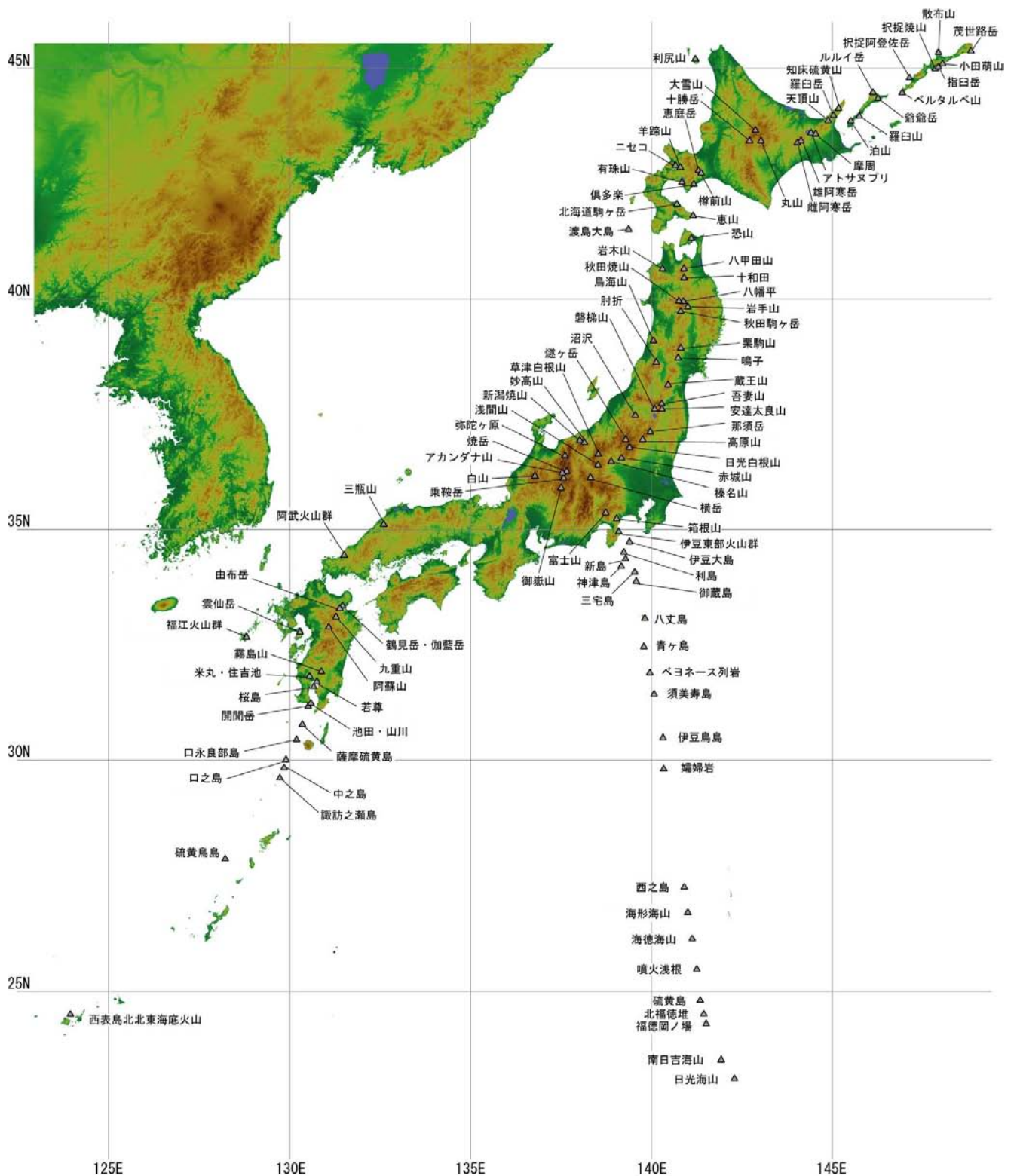


図 全国の活火山分布